

保育士確保

市内勤務5年以上で 修学資金返済を免除

日本共産党の
提案実る



週刊 市議会報告

日本共産党

2016年5月9日

第1369号

【発行】
日本共産党
浦安市議団
☎ & F A X
350-1243



市議会議員
元木美奈子

入船 4-37-14
☎ 355-8526
minamotonton@
jcom.home.ne.jp



市議会議員
美勢麻里

北栄 2-3-16-203
☎ 354-9269
m5mise@jcom.
home.ne.jp

今年度からの 保育士確保事業

浦安市が今年度から打ち出した保育士確保のための新規事業は以下のものです。

◆保育士養成修学資金貸付事業

保育士養成学校を卒業後、市内の保育所等で5年以上勤務しようとする者に対して、修学資金を年額36万円貸し付け、返済免除を行います。予算額は720万円。

市独自の事業

◆保育士宿舍借り上げ支援事業

保育士の就業継続と離職防止のために、事業者が保育士の宿舍を借り上げるための費用の全部または一部を補助します。

補助額は1戸につき82000円を上限に、国基準より2年間延長して補助。国と市による補助制度。予算額は7773万6千円

◆私立保育所保育体制強化事業

保育士の負担を軽減するために地域住民や子育て経験者などを雇用する事業者に対して費用の一部、または全部を補助します。国・県・市による補助制度。

予算額は860万4千円

なぜ保育士が足りないのか、その原因は仕事があきついに給料が低いこと、資格がありながら離職した原因としては、責任の重さに対して待遇が低いという理由が挙げられ、保育士不足は保育士の労働の過酷さが背景にあります。

浦安市内の公立・私立保育園に勤務する職員の離職率は、14.8%（2014年3月31日時点・12月議会答弁）です。

さらに公立保育園7園の非正規率が約10%、指定管理と私立両方合わせた非正規率は約13%（2015年6月1日現在・6月議会答弁）です。

月10万円も 低い賃金!!

保育士の低賃金は、国の基準が低すぎることに由来もたらされています。認可保育所の運営費、いわゆる「公定価格」を算出する際の人件費が低すぎるのが、全産業平均より月約10万円も賃金が低い事態をつくりだし、保育士不足の最大の原因となっています。

日本共産党は2015年6月議会ですべてに船橋市や流山市で導入している「保育士養成修学資金貸付制度」の実施によって、専門性を発揮できる保育士確保を浦安市が一步踏み込んで実施するよう求めました。市はこの時は「保育士資格を持つていない保育従事者に資格取得を支援する補助金を交付している」などとして、提案に消極的でした。